

令和3年度 調布市立第五中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
「徳」思いやりと助け合う心をもとう。「知」自ら学ぶ人になろう。「体」心と体を鍛えよう。	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばせる学校	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	生徒の在籍数は「命の数」である。生徒一人一人の命に「生きる力」を育むことが、調布市立学校の使命と捉えているからである。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> 目的・意志をもって学習に臨む姿勢 基礎・基本の定着 既習事項を日常生活の中で活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの目標を明示し、生徒に見通しをもたせる。 小テストなどを定期的実施、段階的に基礎力をはぐくませる。 読解力を向上させるべく、読みとるべき内容とその方法を明確に示す。 話し合い活動により、情報や知識を共有できる授業を展開する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ姿勢、社会に参画する態度 基礎・基本的な知識・技能の定着 社会的な事象に対して、自らの思考をまとめ、判断し、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間のめあてを明らかにし、振り返りを行う。 小テストや中テストの実施、家庭学習の定着のためにワークを活用。 話し合い活動、レポートの作成を行い、言語活動の充実を図る。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ姿勢 基礎・基本的な計算力の定着 日常生活に数学を活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてを提示・確認する。 授業内容の振り返りを毎時行う。 演習問題を増やすことで、計算力の定着を図る。 日常生活の問題を取り上げることで、数学を活用する力を伸ばす。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ姿勢 基礎・基本的な知識と技能の定着 科学的な事象に対して、自らの思考をまとめ、判断し、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの目標を明示し、見通しをもって取り組ませる。 授業内容の振り返りを行い、知識を定着させる。 グループワーク、実験、観察、レポートの作成を行い、生徒が主体的に学ぶ時間の充実を図る。 環境問題や日常での話題に触れ、学びを生活に生かす。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 表現力の向上 自主的な学習 主体的な学び 多領域にわたるバランスのよい学習 	<ul style="list-style-type: none"> 工夫ある授業の中での全体及び個人に対する呼びかけ テーマを明確にして、学習しやすい環境を作る。 自ら深めていこうという思いがもてる学習形式、指導 時間を有効に使い、充実した学習の確保 ★事前の準備や研究を日々続けています。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 自ら楽しく表現活動に取り組むことにより、表現力の向上を身に付けさせる。 意欲的、主体的に表現活動に取り組む態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な題材に取り組むことで、生徒に興味関心を持たせる。 表現方法の多様さを知り、表現方法の技術を学ぶことにより表現能力を伸ばす。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 目的意識をもって、目標に向かって努力する姿勢を身に付けさせる。 主体的に運動に親しむ態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標の明確化 「できた」という達成感を毎時間味わうことができるよう、一人一人への声掛けを増やす。
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> 自らの生活とつなげ主体的に学ぶ姿勢を身に付けさせる。 ものづくりを通して、創造する力と技術力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的、基本的な知識や技能の定着を図る。 ICTを活用するなど、思考力、判断力、表現力の場を増やす。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
英語	<p>聞くこと：身近なことにに関する話や指示を理解することができる力</p> <p>読むこと：簡単な物語や身近なことにに関する文章を理解することができる力</p> <p>話すこと：身近なことについて簡単なやりとりをすることができ、準備をすれば、スピーチやパフォーマンスをすることができる力</p> <p>書くこと：自分のことや身近なことについて、まとまりのある文章を書くことができる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動等を通して、基礎基本を定着させる。 ・ペア・グループ学習を通して、良い表現を生徒同士が学びあう機会を増やす。 ・ペア・グループ学習において、個々に役割を与えて学習させることで、学習に粘り強く取り組む姿勢を身に付けさせる。 ・発表前には繰り返し準備・練習の時間をとり、自信をもってパフォーマンスに取り組めるように授業を計画する。
道徳科	<ul style="list-style-type: none"> ・自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考える学習を通して、道徳的な判断力。心情、実践意欲と態度を育てる。 ・集団や社会の一員として主体的に生きる意欲を高め、思いやりのある心をもって生活する態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材、ワークシート、板書のユニバーサルデザインの工夫を行う。 ・自己理解や他者理解を深める学習を展開し、自己の生き方や人権について深く考えることのできる力を養う。 ・学校や家庭の日常生活の中で、自ら考えを深めていくことができ、社会に繋げる力を養う。